

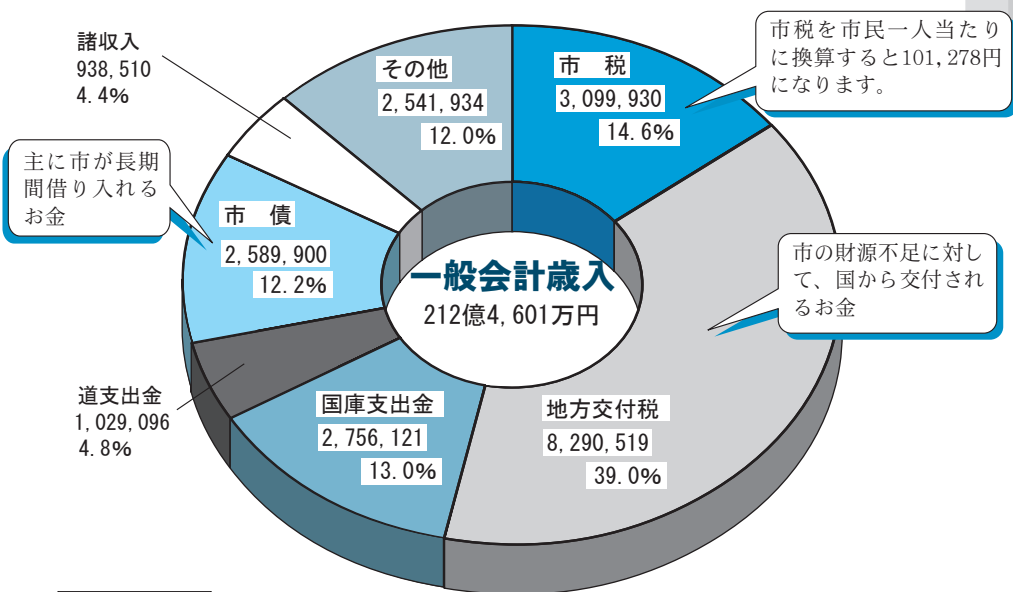
平成21年度 名寄市の決算 (概要)

国民生活と日本経済を守ることを最優先に編成された平成21年度の国の予算は、地方財政対策の総額で前年度比1%の減となりましたが、このうち、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税は前年度比15%増の大幅な伸び率となりました。

名寄市の平成21年度予算は、地方公共団体の財政健全化法に基づく財政の健全化、行財政改革の着実な推進を念頭に、総合計画の具現化を最優先とし、新規事業では東小学校屋内運動場実施設計、市街地再開発事業における地域交流センター取得事業、継続事業では市立天文台整備事業、北斗・新北斗団地建設事業、住宅リフォーム促進事業など、ハード・ソフトの両面から多くの事業を盛り込み、地域経済や雇用にも配慮いたしました。

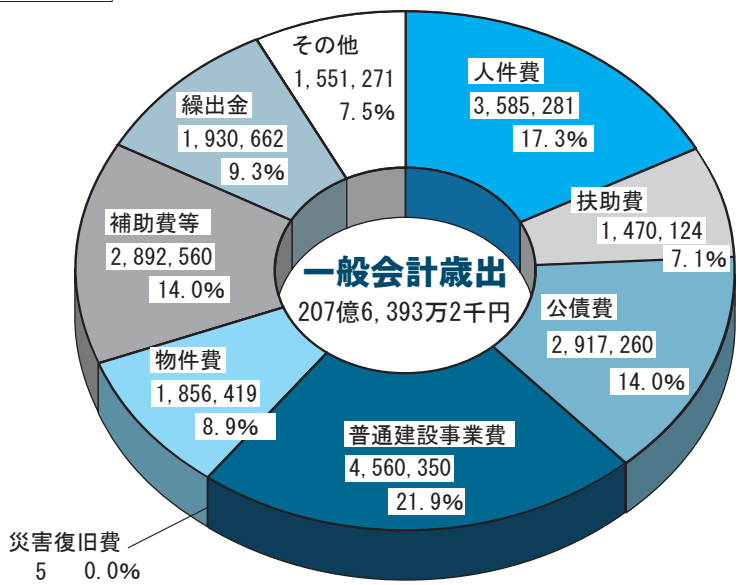
一般会計の決算総額は、歳入額が212億4,061万円、歳出額が207億6,393万2千円で、歳入歳出差引4億8,207万8千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき7,384万9千円を差し引いた実質収支は4億822万9千円となりました。

(本文中の決算額は重複分を差し引いた決算統計ベースです。)



歳入決算額は、前年度と比べ、市税全体で1,943万7千円(0.6%)の増加となりました。また、地方交付税において2億3,126万7千円(2.9%)の他、国庫支出金、道支出金などが増えたことで、歳入全体では23億6,077万2千円(12.5%)の増加となりました。

単位：千円



歳出決算額は、人件費が8,779万2千円(2.4%)の減少となりましたが、普通建設事業費が対前年度比75.3%増えるなど、前年度と比べ全体で21億382万1千円(11.3%)の増加となりました。人件費・扶助費・公債費を合わせた義務的経費の割合は38.4%で、投資的経費は21.9%となりました。

名寄市の財政力

- 財政力指数 (3年平均) 0.300 (前年度0.307) **悪化** ※1.0に近いほど強い。
- 経常収支比率 86.7% (前年度89.5%) **改善**
※財政の弾力性を示す、経常的な支出と収入の割合
- 実質公債費比率 17.9% (前年度18.8%) **改善**
※18%を超えると起債借入に北海道知事の許可が必要となり、25%を超えると起債発行が一部制限されます。



各会計決算総括表

区 分		歳入決算額	歳出決算額	差引額
一 般 会 計		212億4,601万円	207億6,393万円	4億8,208万円
特 別 会 計	国 保 険 事 業 勘 定	33億7,264万円	32億5,225万円	1億2,039万円
	保 直 診 勘 定	1億2,305万円	1億2,305万円	—
	老 人 保 健 事 業	559万円	559万円	—
	介 保 険 事 業 勘 定	19億2,187万円	18億6,864万円	5,323万円
	護 サービス事業・名寄	6億7,615万円	6億7,615万円	—
	サービス事業・風連	4億6,772万円	4億6,772万円	—
	下 水 道 事 業	17億2,547万円	17億2,547万円	—
	個別排水処理施設整備事業	7,181万円	7,181万円	—
	簡 易 水 道 事 業	4,302万円	4,302万円	—
	公 設 地 方 卸 売 市 場	3,669万円	3,669万円	—
	食 肉 セ ン タ ー 事 業	462万円	462万円	—
	後 期 高 齢 者 医 療	2億6,941万円	2億6,941万円	—
	小 計	87億1,804万円	85億4,442万円	1億7,362万円
一般会計+特別会計		299億6,405万円	293億 835万円	6億5,570万円
企 業 会 計	病院事業会計	76億1,208万円	77億6,332万円	
	水道事業会計	5億9,478万円	5億5,655万円	

※一般会計では、ごみ処理手数料や借換債など、歳入歳出の重複と振替など2億1,062万円を調整しています。
 ※決算の剰余金について、国民健康保険会計では全額平成22年度に繰り越しし、介護保険会計については、2,275万円を介護給付費準備基金および介護従事者処遇改善臨時特例基金に積み立てし、残り3,048万円を平成22年度に繰り越します。これ以外の特別会計は一般会計との調整で収支が一致しています。
 ※企業会計の決算額に消費税は含まれません。

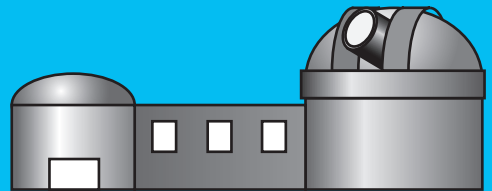
平成21年度に行った主な事業

- 新天文台整備事業 654,085千円
- 風連地区市街地再開発事業 456,364千円
- (仮称)地域交流センター整備事業 724,300千円
- 北斗・新北斗公営住宅建設事業(繰越分含) 610,888千円
- 19線道路舗装新設事業 150,163千円
- 住宅リフォーム促進助成事業 63,400千円
- 道の駅管理運営事業 12,681千円
- イントラネット情報通信機器等更新整備事業 77,463千円
- 市立大学整備事業(繰越分含) 78,925千円
- 名風聖苑施設整備事業 41,641千円
- 保健センター整備事業 18,157千円
- 東小学校屋内運動場整備事業 8,484千円
- 風連中学校整備事業(繰越分含) 6,832千円

一般会計とは 市の財政は一般会計、特別会計、企業会計からなっており、土木費や教育費など、行政運営の基本となる会計のことをいいます。

特別会計とは 特定の事業やサービスを提供するために、利用者からいただいた保険料や使用料などを財源として事業を運営するために設けられた会計のことをいいます。

企業会計とは 自ら事業を行い、その事業で得た財源で運営する、民間企業と同様の経理をする会計のことをいいます。



主な市有財産の現在高
(平成22年3月31日現在)

土 地	4,029万6,172㎡
内 山 林	2,577万7,078㎡
建 物	29万8,960㎡
有価証券	3,871万円
債 権	2億5,112万円
基 金	37億7,572万円

名寄市の貯金と借金

貯金にあたるものとしては基金があります。平成22年5月31日現在では一般会計と特別会計合わせて39億4,671万円の現在高で、1人あたりにすると12万8,944円。また借金にあたるものが地方債残高で、病院事業などの企業会計や介護保険などの特別会計を含む全会計の総額では415億6,654万円となっており、1人あたりにすると135万8,029円となります。 ※年度末人口30,608人